

笑門来福



延岡市立東小 学校だより No.3

令和7年6月25日（水）

「プール開き」

6月23日（月）から水泳指導が始まりました。



6月23日より水泳指導が始まりました。少しずつ気温が上がるこの時期では、プールの活動を楽しみにしている子どもたちも多いことと思います。私たち教職員一同、安全で楽しい時間を過ごすことができるように、水泳指導のための準備を進めてきました。特に、以下のポイントを重視し、安全第一に充実した水泳指導ができるよう努めてまいります。

教職員の指導体制

特に、水泳指導においては、安全面の手立てで最も重要となります。様々な視点から児童を観察しながら指導を行う必要があります。そこで、以下①～③のように、体制をつくり指導を行っています。

- ①主として児童全体の水泳指導を行う教職員
- ②水の中で児童と同じ目線の視点から観察、指導する教職員
- ③プールサイドから児童全体を見渡して指導する教職員



保護者のご協力

保護者の皆様にも、ご多用の中ご協力いただき、プールサイドからの見守りをいただいています。

複数の方々が観察、見守りをしてくださることで、私たち教職員も大変ありがたく思っております。児童の安全な活動を支えていただいている保護者の皆様に心より感謝いたします。



熱中症の対策

プール指導においては熱中症の対策も大きな課題となります。そこで、本校では次のような主な対策を行っています。

- プールサイドの熱中症指標、気温、湿度、水温の測定結果から総合的に判断し対応する。
- プールサイド（大プールと小プールの間）に、寒冷紗を張り気温の上昇を抑える。
- プールサイドのミストシャワーにより暑さを軽減する。



その他の配慮事項

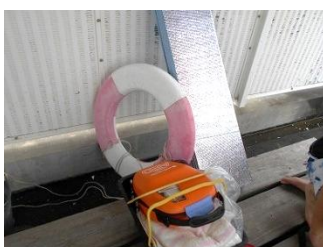
○雨雲や雷レーダー等を頻繁に確認しています。特に、雷の接近には注意を払いながら活動します。

○もしもの時を想定し、心肺蘇生法の職員研修を行いました。AEDの使い方や心肺蘇生の仕方、119番への通報の流れ等を確認しました。

○AEDや浮き輪、しきマット等、プールサイドに常備しています。



【ミストシャワー】



【AED、浮輪、マット】



【救急想定訓練】



【AED講習】